平成 20 年 12 月 12 日

東経連事業化センター情報

「産学マッチングＦＳ助成制度」の採択案件について

〜新たに２件の助成を決定〜

東経連事業化センター（会長・幕田圭一(社)東北経済連合会会長）では、技術シーズの事業化の可能性を調査するＦＳ（フィージビリティ・スタディ）への助成を行っておりますが、このたび、産学マッチング委員会（委員長・髙橋四郎東北イノベーションキャピタル㈱取締役）での検討を受け、新たに２件の助成を決定しました。これにより、ＦＳ助成制度の採択案件は合計１０件となります。

「産学マッチングＦＳ助成制度」とは、大学等の技術シーズを対象として、事業化の可能性を評価するＦＳ調査のための資金を助成するもので、助成額は、東経連事業化センター、(独) 科学技術振興機構（ＪＳＴ）がそれぞれ１００万円、合計２００万円が上限となります。

本事業は年間１０件の助成を目安としており、本年度は３件の助成が決定しております。

今後、産学マッチング委員会では、対象案件に対しＦＳ調査の資金助成を行うほか、事業化に向けた支援を実施してまいります。

今回採択された助成件名の概要は、別紙のとおりです。

なお、産学マッチングＦＳ助成事業は申込を随時受け付けております。

以上

※これまでの採択案件（平成 19 年度採択①〜⑦、平成 20 年度採択⑧〜）

①「ナノカーボンセメント面状発熱体製造技術の開発」
石巻専修大学　亀山教授、（株）ティーアールティー（石巻市）

②「手術シミュレーション用口腔内モデルの開発」
東北大学　太田准教授、（有）テクノ・キャスト（大崎市）

③「電磁力を利用してネジ山をセラミック粒子分散強化したアルミ製ネジの開発」
東北大学　谷口教授、（株）日本セラテック（仙台市）

④「発毛効果を有するカキドオシ・エキスの研究開発」
秋田大学　杉山教授、（株）エーティー・ラボ（秋田市）

⑤「薄地炭素繊維織物とその積層織物の製造技術の開発」
福島県ハイテクプラザ　三浦研究員、齋藤産業（有）（川俣町）

⑥「ガス除去フィルタの開発とその応用」
東北文化学園大学　野﨑教授、東スリーエス（株）（仙台市）

⑦「電力需要予測サービスに向けた先進的未来予測プログラムの開発」
岩手大学　伊藤研究員、（有）ザゼンソウ技術開発研究所（盛岡市）

⑧「サケ頭部の未利用部位を高度有効活用した健康で大型の錦鯉の育成技術の開発」　北里大学　森山准教授、㈱丸辰カマスイ（釜石市）山源錦鯉（長岡市）

【本件についての照会先】東経連事業化センター　西山、大粒来（TEL.022−225-8561）

別　紙

「産学マッチングＦＳ助成制度」に採択された助成件名の概要

NO.9	体外受精（出生）児のインプリント異常症診断システムの開発
代表開発者①	有馬隆博　東北大学未来医工学治療開発センター　准教授
共同開発者②	越坂卓也　G＆G サイエンス株式会社（福島市）　代表取締役社長
ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ	東北大学　渡邉　君子　客員准教授
助　成　金　額	東経連事業化センター：１００万円　ＪＳＴ：１００万円
助　成　期　間	東経連事業化センター：平成 20 年 11 月～21 年 10 月 ＪＳＴ：平成 20 年 12 月～平成 21 年 3 月
課　題　概　要	生殖補助医療（以下 ART）は、不妊症患者に重要な治療法であり年間約７万人の体外受精児を誕生させている。ART を原因とするインプリンティング異常症※とは、インプリント領域に DNA メチル化が獲得あるいは維持できなかったことにより発症する。有馬准教授は、ART を原因とするインプリンティング異常症の発症のメカニズムの解明に関する研究を通し、ART 出生児のインプリント病を早期発見すべく DNA メチル化定量システムを G&G サイエンス㈱と共同開発するものである。 有馬准教授が開発しようとしているインプリント領域の DNA メチル化を判定する診断用メチル化蛍光ビーズ法は、迅速かつ精度が高く、インプリント異常を診断するものであり、その診断に用いる DNA を特定し、特許を出願している。この診断用メチル化蛍光ビーズ法は、ART 出生児のインプリント病のリスクの評価も可能である。本研究では、その特許をもとに DNA メチル化定量システムを G&G サイエンス㈱と共同開発し、インプリント病の早期診断を可能にするものである。

※インプリンティング異常症
インプリント遺伝子は配偶子形成過程においてメチル化領域（インプリント領域）に DNA メチル化を獲得し、両親の遺伝子を区別（目印）しているが、このインプリント領域に DNA メチル化が獲得あるいは維持できなかったことにより発症する。

NO.10	新野菜プチヴェールを利用した機能性食品の開発
代表開発者①	西田浩志　新潟薬科大学・応用生命科学部助教
共同開発者②	峰尾　茂　㈱ブルボン（柏崎市）　健康科学研究所研究推進室長
ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ	財団法人にいがた産業創造機構　真島　操　チームリーダー
助　成　金　額	東経連事業化センター：１００万円
助　成　期　間	東経連事業化センター：平成 20 年 11 月～21 年 10 月
課　題　概　要	「ケール」と「芽キャベツ」の交配により日本で誕生した「プチヴェール」は、ビタミンやミネラル等の栄養素を豊富に含んでいることが知られている。西田助教らは、「プチヴェール」に内臓脂肪の蓄積抑制と血糖値上昇抑制の効果があることを科学的に明らかにしている。 今回の計画は、これまでの研究成果を踏まえ、「プチヴェール」の生体内での機能を詳細に検討するため、抗肥満作用に関連した遺伝子やタンパク質の発現動態を明らかにし、メタボリック症候群に対する有効性を明示する予定であり、同時に、㈱ブルボンの製造技術を活かした機能性食品としての研究が進めば、広く国民への普及と健康増進に大きく寄与するものと期待している。

（参考 1）

東経連事業化センターの概要

１.組織名　/東経連事業化センター
(正式名称:東北地域新規事業化支援センター)

２.設立目的/東北地域の競争力強化に向けて、マーケティング支援をはじめとする新産業・新規事業の創出支援に東北地域の産学官の総合力を発揮して取り組み、地域イノベーション・システムの強化を図ること。

３.活動期間/５年間（平成 18 年４月～平成 23 年３月）

４.組織形態/東北７県の企業支援機関、産学官連携機関、大手企業等を会員とする任意団体

５.活動期間/５年間（平成 18 年４月～平成 23 年３月）

６.活動経費/年間５千万円程度

以上

（参考２）

「産学マッチングFS助成制度」の概要

１.目　的

本制度は、東経連事業化センターが産学マッチング支援事業で支援する研究シーズ等に対して、「事業化の可能性を的確かつ迅速に評価するための試験等」（FS：フィージビリティ・スタディ）を行い、事業化を推進することを目的とする。本事業を契機に、国等の競争的資金への申請支援も併せて行う。

なお、本事業は、東北地域全体のイノベーション・システム構築に向け、東経連事業化センター、(株)インテリジェント・コスモス研究機構（ICR)、(独)科学技術振興機構（JST）が協力して実施する。

２.申込対象

大学等の研究者、東北７県の企業

３.対象となる技術シーズ

事業化のために可能性試験が必要となっている技術シーズとし、以下を条件とする。

① 当該シーズの事業化を目指す企業が存在することを基本とする。
② 当該シーズを導入することで従来製品に比べての優位性を示すデータが存在すること。
③ 事業化に向けて、特許取得済み、または権利化の可能性が高いこと。

４.選考および結果の通知

評価基準（※）に基づき審査の上、当センター産学マッチング委員会での評価を経て採択有無を決定する。申込は随時受け付け、採択有無については２ヵ月程度で書面にて回答する。

（※）評価基準

① 市場ニーズが高いシーズであること
② 事業化の可能性が高いシーズであること
③ 新規性・独創性があるシーズであること
④ 適切な研究計画で目標達成の可能性が高いこと

５.助成金額

100～200万円

当センター単独での助成金額は原則100万円が上限とする。ただし、原則100万円を上限に、併せてJSTの助成も受けることができる。

６.応募手続き

「東経連事業化センターＦＳ助成申込書」を当センターのホームページ（http://www.nc-t.jp/）からダウンロードし、必要事項を記入の上、郵送で提出する。

本申込書をもって併せてJSTからの助成にも申込むことができる。

以　上